

<資料 9>

令和2年11月25日
定例記者会見資料

コロナ禍における新たな試み～動画コンテンツの制作・配信～

新型コロナウイルス感染拡大防止の影響から事業が中止・延期となるケースや、これまでの運営方法から変更せざるを得ないケースが多々あります。このような状況の中、市民への情報提供は、様々なチャンネルを通じて行うことが求められ、これまで行っていた事業などでは、新たに動画コンテンツやオンラインでの開催にチャレンジしています。

今後も、様々な事業で動画コンテンツ等の活用を進め、コロナ禍においても市民の方に市の取り組みへの興味関心を持っていただけるように努めていきます。

○むさしのジャンボリー事業と市立自然の村施設紹介動画

新型コロナウイルス感染症の影響で中止になった「むさしのジャンボリー」で行う実際のプログラムを参加者目線で模擬体験できる動画と、市立自然の村の施設内を巡るような視点で楽しめる紹介動画です。



動画内の画像

○環境フェスタオンライン開催に向けた「エネルギー地産地消プロジェクト」紹介動画

市では、ゴミ処理で発生する蒸気で電気を創り、地域の公共施設に供給しています。そのエネルギー地産地消プロジェクトとゴミ処理による発電の仕組みを、わかりやすく紹介した動画を環境フェスタの開催にあわせて作成したものです。



動画内の画像

○Sports for All 水球のオンライン開催

東京2020オリンピックでの活躍が期待されている水球日本代表チーム「ポセイドンジャパン」の選手たちが、水球の魅力や見どころなどを集めた動画について解説したり、小中学生からの質問に答えるものです。



動画内の画像